

報道機関各位

2022年3月30日

## 銚子丸が「食」と「職」への興味関心を喚起するイベントを開催

株式会社銚子丸(本社:千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長:石田 満)は、3月26日(土)、東京都中央区のニチレイ東銀座ビルにて、一般財団法人マイナビ世界子ども教育財団、株式会社ニチレイフレッシュとのコラボレーションで、中学3年生・高校1年生とその家族を対象として「食」と「職」への興味関心を喚起するイベントを開催した。



## 《開催の経緯》

銚子丸では昨夏よりフードバンク活動(※1)による食料支援活動を行っており、そこからの発展的な展開として、支援を必要としている人に無料でお食事を提供する企画を検討していた。このテーマについて社内外にアイデアを求めたところ、銚子丸の働き方改革をコンサルティングしている株式会社ワークライフバランスが、一般財団法人マイナビ世界子ども教育財団を紹介。同財団も活動の一環として、経済的な不安を抱える新高校一年生を対象とした食料支援を行っている。また、銚子丸の食材仕入れ先の一つである株式会社ニチレイフレッシュから、「食育」を目的とした講演活動に取り組んでおり「一緒に何かできないか」との申し出があり、今回の3社コラボレーションに至る。企画を話し合う中で、より一層参加者の為になるイベントにするために、単なる食料支援でなく「食」と「職」について興味関心を喚起するような内容を軸とすることで合意し、各社得意分野を活かしたコンテンツの準備を進めた。

## 《3月26日(土)開催のイベント内容》

当日はニチレイフレッシュの講演「出張工場見学～いくら～」、銚子丸の「真鯛解体パフォーマンス」「江戸前の技体験～試食」、マイナビ世界子ども教育財団の「発見!お仕事インタビュー」を行い、11家族29名の参加者とともにおいしく楽しいひと時を過ごした。詳細は別添イベントレポート参照。

## 《今後について》

参加者へのアンケートでは、子供たちからも保護者からも、「楽しかった」「美味しかった」「考えさせられ、気づかされる事があった」「ためになった」との声があり、大変高い満足度だった。主催者としても今後の活動に向けての得るものが多く、大変有意義なイベントとなった。主催した3社で今後の発展的展開に向けての検討を開始した。

尚、今回主催した3社の他に、このイベントの趣旨に賛同した株式会社ニチレイフーズ、第一水産株式会社、株式会社山治、山本食品工業株式会社が食材の提供などで協賛した。

\*\*\*\*\*

この件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社銚子丸 〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田 2-39 経営戦略室 下公(しもこう)

Mobile: 090-6020-4525 Email: shimoko\_y@choushimaru.co.jp



おいしい舞台を社会科見学@お寿司屋さん  
～見て×聞いて×食べて体験～

春の章

銚子丸

海と大地と人をつなぐ  
ニチレイフレッシュ

マイナビ  
MINDOR

※1: フードバンクとは「食品銀行」を意味する社会福祉活動。まだ食べられるのに、様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける。銚子丸では店頭で「食品寄贈BOX」を設置し、お客様からご家庭に眠っている食品を集め、フードバンクちばを通して食料支援を行っている。

■(株)銚子丸は、東京、千葉、埼玉、神奈川において合計91店舗をすべて直営で展開。銚子港をはじめ世界中の海から新鮮なネタを仕入れ、さばきたて握りたてをご提供するグルメすしチェーン店「すし銚子丸」(81店舗)、複合商業施設などに出店する新業態「すし銚子丸 雅(みやび)」(4店舗)、寿司割烹業態の「江戸前すし百萬石」(1店舗)、テイクアウト専門店(4店舗)各業態とも店舗を舞台、従業員を劇団員として観客であるお客様を楽しませる「劇場コンセプト」が特徴。(店舗数はいずれも2022年3月現在)

## □ イベントレポート □

# おいしい舞台を社会科見学@お寿司屋さん ～見て×聞いて×食べて 体験～



## 銚子丸が「食」と「職」への興味関心を喚起するイベントを開催

株式会社銚子丸(本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長：石田 満)は、3月26日(土)、東京都中央区のニチレイ東銀座ビルにて、一般財団法人マイナビ世界子ども教育財団、株式会社ニチレイフレッシュとのコラボレーションで、中学3年生・高校1年生とその家族を対象として「食」と「職」への興味関心を喚起するイベントを開催した。

### 《開催の背景～経緯》

現在の日本における子どもの貧困率は13.9%。7人に1人が貧困と言われる。また、その多くは母子家庭で、子供が2～3人いる世帯であることが多く、貧困の課題をかかえながらも、「恥ずかしいこと」という思いからなかなか声を上げられない世帯も多い状況。十分な食事がとれず、「1日2食がやっと。」「良質なたんぱく質はなかなか取れない。」といった家庭が存在する。

銚子丸では上記の社会課題を解決すべく、昨夏よりフードバンク活動(※1)による食料支援活動を行っており、そこからの発展的な展開として、支援を必要としている人に無料で食事を提供する企画を検討していた。このテーマについて社内外にアイデアを求めたところ、銚子丸の働き方改革をコンサルティングしている株式会社ワーク・ライフバランスが、一般財団法人マイナビ世界子ども教育財団を紹介。同財団も活動の一環として、経済的な不安を抱える新高校一年生を対象とした食料支援を行っている。また、銚子丸の食材仕入れ先の一つである株式会社ニチレイフレッシュより「食育を目的とした講演活動に取り組んでおり、一緒に何かできないか。」との申し出があり、今回の3社コラボレーションに至る。企画について3社で話し合う中で、今回の参加者はその生活環境から「食べること」と「働くこと」に関わる経験が比較的乏しい可能性が高い。より参加者の為になるイベントを目指し、単なる食料支援でなく「食」と「職」について興味関心を喚起するような内容を盛り込む事で合意し、各社得意分野を活かしたコンテンツの準備を進めた。

※1：フードバンクとは「食品銀行」を意味する社会福祉活動。まだ食べられるのに、様々な理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている施設や人に届ける。銚子丸では店頭で「食品寄贈BOX」を設置し、お客様からご家庭に眠っている食品を集め、フードバンクちばを通して食料支援を行う。

### 《3月26日(土)開催のイベント》

当日はニチレイフレッシュの講演「出張工場見学～いくら～」、銚子丸の「真鯛解体パフォーマンス」「江戸前の技 体験～試食」、マイナビ世界子ども教育財団の「発見！お仕事インタビュー」を行い、11 家族 29 名の参加者とともにおいしく楽しいひと時を過ごした。

会冒頭、株式会社銚子丸代表取締役社長 石田満氏より、参加した子どもたちと保護者に向けて挨拶。(オンラインでのリモート参加)



「こういった企画を通して、いろんなことに興味を持ってほしい。今日は3つ紹介します。1つ目「食」。食べるということは世界共通。世界平和につながる。2つ目「魚・魚食」。3つ目「お寿司、それを作るすし職人に興味を持ってほしい。すしは日本が誇る食文化。一貫一貫がフランス料理に負けないくらいの料理。この3つに興味を持っていただき、楽しんでお寿司を食べてほしい。」

#### 1. 工場出張見学～いくら～ (株式会社ニチレイフレッシュ)

株式会社ニチレイフレッシュ田中氏より、「いくら」が消費者の手元に届くまでの工程や工夫などを講演。「5600キロの道のりを経て、私たちが食べているいくらには作られている。私たちが、旬のものを食べられるように、工夫をして加工、運搬されている。1つの商品が私たちの手元に届くまでに、買い付け、運搬、検査などいろんな人達の想いが込められる。私たちがお魚を食べることは、命をいただくこと。必ず「いただきます」、「ごちそうさま」と感謝をしましょう。」



## 2. 真鯛解体パフォーマンス (株式会社銚子丸)

鯛をどうやって切り身にするのか、目の前で寿司職人が魚を裁っていく様子を披露。「魚の頭の向きは「左」が正解なので、切り身の方向で新鮮度が分かる。上身と下身があり、上身の方が、鮮度が高い！」会場からは、興味津々に動画撮影をする姿や、「そうなんだ！初めて知った！」との声も多数。



### 3. 江戸前の技 体験～試食 (株式会社銚子丸)

体験に先立って、手洗いの大切さとプロの手洗い方法のレクチャーがあり、全員で丁寧に手洗い。その後、おすしの握り方のレクチャー。寿司ネタ用に切り付けた魚と酢飯、海苔などが配られ、寿司の握りと手巻きを体験。「初めてやった!」「意外と難しい!」という声が挙がった。



その後、職人が握ったお寿司を試食。自分が握ったすしと、すし職人が握ったおすしとの違いを比べ、握り方一つで味や食感が変わるということを実感。「お寿司がきれい!」「おいしかった」と会場から感嘆の声。

デザートには銚子丸自慢の特製プリンを提供。昔ながらのかための触感が楽しめるプリンは大好評。また、さらに「甘いものは別腹」と、協賛の株式会社ニチレイフーズから今川焼も提供。

#### 4. 発見！お仕事インタビュー（一般社団法人マイナビ世界子ども教育財団）

「食」について学び、お腹をいっぱい満たした後、「職」について学ぶ場を用意。マイナビ世界子ども教育財団 下房氏がモデレーターとなり、すしの仕事に携わる4名にインタビュー。どんな仕事をしているのか、また個々人の仕事にける想いややり甲斐などを訊く。



#### 株式会社銚子丸 おもてなし部次長 三浦氏

「私たちは、経営理念を大事にしている。経営理念とは、「私たちの使命」。お客様に喜ばれ、感謝されることが私たちの使命であると銚子丸に入社したいときに教わった。銚子丸は、おすしを売る会社ではなく、理念を売る会社ですと、新しく入社する人にも伝えている。」

#### 株式会社ニチレイフレッシュ 広域営業部部長 田中氏

「私たちの経営理念は、おいしい瞬間を届けること。「暮らしを見つめ人々に心の満足を提供すること」。おいしいものを安心安全に届ける。心も体も幸せになってもらうことが、社会的存在価値。ただ、私たちは直接消費者様に提供はできない。銚子丸さんやスーパーさんに提供して、売ってもらう。みなさまの元に食材が届くまでにはいろんな仕事がある。今回のイベントをきっかけに、自分はどんな仕事をしたいのかを考えてもらうとよいと思う。ぜひ、「職」に、興味を持ってもらいたい」

最後は社会人の先輩として、4名それぞれから、子どもたちにエール。

ニチレイフレッシュ 田中氏

「興味のあることを一生懸命やってください」

ニチレイフレッシュ 武田氏

「世の中は商売で成り立っている。お客様からも“ありがとう”と言ってもらえる仕事をするのが大事」

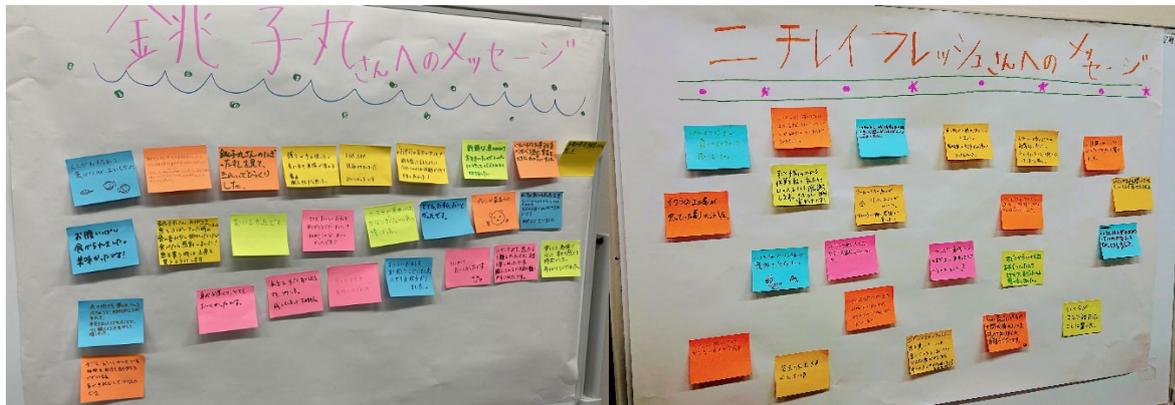
銚子丸 下公氏

「自分の好きなことに集中するのもよいが、自分で見えている範囲は狭いこともある。人のいうことを聞いてみて、視野を広げて欲しい」

銚子丸 三浦氏

「苦勞した経験があるからこそ、今がある。苦勞を乗り越えることで技術が身につく。ぜひがんばってほしい」

開催中に、銚子丸やニチレイフレッシュ向けの感謝のメッセージが多数寄せられた。



最後に、閉会の言葉として、一般社団法人マイナビ世界子ども教育財団 児嶋氏より挨拶。

「今回のイベントは、開催にあたり 2021 年 11 月から打合せをしてきました。コロナのこともあって、どうなるかなと思っていたが、皆に喜んでもらえたらと思い、今日までやってきました。桜の花をみて、綺麗だなと思うのと、同じくらいシンプルに皆さんに喜んでもらえたらという気持ちでした。今日この日を迎えることができ、良かったと思います。

これからも、皆さんのことを応援したい。皆さんが未来の希望だと思っている大人がいるんだよと思ってもらえたら嬉しいです。」

会場は、あたたかい拍手で包まれ、盛況のうちに閉会。



### 《参加者アンケートより》

・とても楽しい時間でした。ふだん何気なく食べているいくらが出来るまでにあたり、深いところまで教わり、とてもためになりました。また、今の私たちには関わりのない4つの仕事をしている方から話を聞いたことがとてもためになりました。にぎり体験は思ったよりも難しく、形が決まらなかったですが、楽しかったです。(中学校3年生)

・こんな難しい時代の中で、日本の伝統、生鮮食品を使う食の勉強を安全に楽しくしてくださったことに心から感謝申し上げます。講演の際も、皆が興味を持てるように工夫してくださったことも伝わり、大人も十分に楽しめ、改めて園区応ができました。娘が更に「食」「働く」ということに興味を示していたことに驚きました。(保護者より)

・考えさせられることや気づかされることなど、いろいろなことを学ぶことができたので、もっと知りたいことや、もう一度体験したいと思えるような事がたくさんあったので、また参加したいと思った。(中学校1年生)

主催の3社は、今後このイベントを発展的に展開することについて検討を開始。SDGs「飢餓をゼロに」そして「働きがいも経済成長も」などの達成のための活動として、食と職に関わる社会貢献に注力する。

### 《主催者》

■株式会社銚子丸：東京、千葉、埼玉、神奈川において合計91店舗をすべて直営で展開。

銚子港をはじめ世界中の海から新鮮なネタを仕入れ、さばきたて握りたてをご提供するグルメすしチェーン店「すし銚子丸」(81店舗)、複合商業施設などに出店する新業態「すし銚子丸 雅(みやび)」(4店舗)、寿司割烹業態の「江戸前すし百萬石」(1店舗)、テイクアウト専門店(4店舗)各業態とも店舗を舞台、従業員を劇団員として観客であるお客様を楽しませる「劇場コンセプト」が特徴。(店舗数はいずれも2022年3月現在)

<https://www.choushimaru.co.jp/>

■株式会社ニチレイフレッシュ：水産物商社、国内外から選びぬいた水産・畜産品を、企画から販売まで、食を総合的にコーディネート。

<https://www.nichireifresh.co.jp/>

■一般社団法人マイナビ世界子ども教育財団：当財団はこの基金を用いて教育を受けられない国内外の子どもたちのために教育を受ける機会の提供を通じ、

子どもの健やかな成長と就労を促進し、各国の貧困改善・経済発展に寄与することを目指します

<https://mynavi-foundation.or.jp/about/>

### 《協賛》

本イベントの趣旨に賛同し、協賛として食材をご提供いただきました。

株式会社ニチレイフーズ 第一水産株式会社 株式会社山治 山本食品工業株式会社

以上